

令和6年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 外国人の子供の就学促進事業)
事業内容報告書の概要

市区町村名【美濃加茂市】
令和6年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制</p> <p>◇委託先: NPO法人可児市国際交流協会</p> <p>◇場所: 可児市総合会館(可児市広見1-5) 可児市多文化共生センター フレビア(可児市下恵土1185-7)</p> <p>◇指導者: 統括コーディネーター1人、教室コーディネーター(指導者も兼ねる)1人 日本語指導・教科指導者10人</p> <p>◇時間: 毎週月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 10:00～16:00</p> <p>◇勤務形態: 雇用1人 10:00～16:00 週4日(月曜日・火曜日・木曜日・金曜日) 日本語及び教科指導は、時間割の各コマで指導</p> <p>◇参加人数: 10人</p> <p>◇内容: 義務教育年齢を超えた子どもの高校進学を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語初期指導 ひらがな・カタカナの読み書き、日本語教材を活用した日本語での会話、文法を指導 ・教科指導 進路に合わせ、国語、漢字、数学をしっかり指導し、受験対象者には、受験対策として英語、理科、社会に加え、面接を指導
<p>2. 具体の取組内容 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること</p> <p>【進路説明会】</p> <p>岐阜県教育委員会進学ガイダンス参加 (7/8, 7/9)</p> <p>【学校見学】</p> <p>加茂高校定時制、八百津高校、東濃高校、加茂農林高校、東濃実業高校</p> <p>【体験学習・交流活動】</p> <p>4/8 始業式</p> <p>5/24 課外活動日本文化体験(犬山市)</p> <p>6/17 進路学習会(東濃高校、加茂農林高校見学)</p> <p>7/5 セミナー</p> <p>7/9 オンライン交流(前橋国際大学)</p> <p>7/16 スポーツレク</p> <p>7/22 海外オンラインワークショップ</p> <p>7/23 高校オープンキャンパス(八百津高校、加茂高校定時制、東濃実業高校、東濃高校)</p> <p>8/6 高校オープンキャンパス(加茂農林高校)</p> <p>8/8 性教育ワークショップ</p> <p>8/22 シチズンワークショップ</p> <p>8/26 前橋国際大学交流会</p> <p>10/12, 13 にじいろキャンプ(福井県)</p> <p>10/29 スポーツレク</p>

11/19 社会見学(名古屋市科学館) 11/24 多文化共生フェスティバルin可児 有志ボランティア参加 12/20 大掃除・レクリエーション 1/28 高校入試に向けた模擬試験 3/5 高校入試 3/7 陶芸体験 3/11 修了式				
3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項①～⑥について、それぞれ記入すること ・昨年同様にキャンプや進路ガイダンスだけではなく、先輩と交流する機会を増やし、早い段階から進路について考えるよう促すことができた。また、大学生との交流の機会を設けることができ、生徒たちの学習意欲や日本語能力の向上へとつなげることができた。 ・生徒との面談を増やし、生徒の悩みや希望に寄り添いながら、進路に関する問題を一緒に考えることができた。 ・学習だけでなく、スポーツイベントや日本の季節行事や外部講師によるコミュニケーションワークショップなどの活動を行うことで、生徒間の横のつながりを形成し、また学習に対するモチベーションの維持を行うことができた。 この事業自体、通う子どもにとってはとてもいい学習支援であることは間違いないが一部の子に対する支援として継続していくには市の負担が大きいためかなりの補助が無いと難しい。				
	3～6歳	7～12歳	13～15 歳	16～18 歳以上 (過年齢)
本事業で対応した子供の数	人	人	人	10 人
4. その他(今後の取組等) 令和7年度からは事業廃止				

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。
※ 事業内容報告書の概要は、担当者・連絡先欄を除き文部科学省ホームページで公開する。